

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年11月30日	2008年11月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の山口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月も路上での暴力を伴う恐喝、窃盗事件が続発している。これから年末にかけて人の多い地区に出かける機会も多くなると思われるが自分の身は自分で守るという意識を強く持ち、隙を見せないようにして防犯を心がけたい。カージャッキングの事例も報告されているので一層の注意が必要である。金の指輪を口実とした詐欺事件も報告されている。被害額はたいしたものではないにしても、少しでも怪しいと思ったら言い訳など無用でその場を立ち去ること。もっと大きな事件に巻き込まれる恐れがある。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年11月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣			1							1	3		2		1		8
置き引き																	0
引ったくり							1	0									1
万引き			1													1	2
強盗										3	1						4
窃盗(車・自転車)																	0
カージャック											1						1
車内盗難						1											1
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	1	4	4	2		1	3	2	9	2	1	3	1		2	37
詐欺(カードなど)			1			1		1		2			1				6
拉致・誘拐																	0
破損・放火	1				1	1		1	1	1				1		1	8
ストーカー																	0
麻薬取引・所持											1					1	2
飲酒／無免許運転							1			1	1	1					4
その他											1			1			2
合計	3	1	7	4	3	3	3	5	3	18	9	2	6	3	1	5	76

備考欄: リヨン東→ Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→ Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→ Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→ Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

① 路上での暴力を伴う引ったくり事件

毎月のように、路上における暴力事件例が報告されている。特に一件はバスを降りたところを突き飛ばされて貴重品を奪われている。これからクリスマスにかけて外出、買い物にでかける機会も増えると思われるが気を引き締めることが大切である。

- 11月1日午前11時15分ごろ、リヨン8区で48歳の男性がバスを降りたところ突然若者二人組に突き飛ばされ、持っていたかばんを奪われた。犯人らはそのまま逃走。男性は腕を骨折するなどの怪我を負った。（プログレ紙11月4日付）
- 11月12日夜、リヨン9区でスクーターに乗っていた15歳の少年に何者かが襲い掛かり少年はスクーターから転落。その隙に共犯がスクーターを奪いもう一人の犯人を乗せて逃走した。（プログレ紙11月13日付）
- 11月12日深夜、リヨン3区で26歳の男性が男女2人組みに襲われた。犯人らは男性の貴重品を奪って逃走した。（プログレ紙11月14日付）
- 11月15日午後6時ごろ、15歳の少年がリヨン8区で突然3人組の男に襲われ犯人らは少年の携帯電話を奪って逃走した。（プログレ紙11月18日付）
- 11月16日午後、41歳の女性がヴェニシュー市のレオ・ラグランジュ通りを歩行中にいきなり走り寄ってきた男にハンドバックを奪われた。女性は抵抗せずハンドバックを渡したために怪我は無かった。（プログレ紙11月18日付）

② またもやカージャッキングの被害

- 11月10日午後6時10分ごろ、43歳の女性がSNCFサン＝ジェルマン・オ・モンドール駅でカージャッキングの被害にあった。女性が同駅の駐車場に停めてあったプジョー307に乗り込もうとしたところ、覆面、手袋をし拳銃を持った男が突然現れ、催涙ガスを噴射しながら車のキーを渡すよう要求。女性は要求に従いキーを渡すと犯人は女性の車にのって逃走した。（プログレ紙11月13日付）

最近では高級車のみでなく、一般乗用車もカージャッキングの被害に遭うことが多い。普段行きなれた場所であっても駐車して車から出る場合、そして車に乗り込む場合には周囲の状況に充分注意すること。不運にも脅された場合には抵抗せず犯人の指示に従うこと。抵抗し車にしがみつくななどしたために重傷を負った例もある。

③ ホームジャッキング

今月始め、メシミー市の一軒家でホームジャッキングがあった。真夜中家人が就寝中に犯人らが侵入し、停めてあった高級車のキーを盗み、その車で逃走した。犯人らおよび車は見つかっていない。（プログレ紙11月6日付）

④ 現金自動引出し機前での強盗未遂

11月25日午前8時30分ごろ、ヌービル市で22歳の女性が現金自動引き出し機を利用したところ、武装した男に今引き出した現金を渡すように脅された。被害者の女性が驚いて悲鳴をあげたところ、近くを通りかかった54歳の女性が何かと駆けつけたために犯人はそのまま逃走した。（プログレ紙11月27日付）

何度も繰り返すが、現金自動引き出し機を利用して現金を引き出す際には周囲の状況に充分注意すること。今回は怪我人などは出なかったが、下手に抵抗すると怪我を負う恐れがあることを認識したい。

⑤ 古い手口の詐欺事件が再発

- 関係者の間では広く知られている詐欺事件であるが、リヨン6区プロットー地区で何人かが被害にあったと報告されている手口を紹介したい。
同地区を歩いていると、少し先に地面を見つめている人に出会う。何かかと思ひ同じようにそこに目をやると、金の指輪が落ちている。地面を見つめていた人は、これは自分が見つけたのではなくあなたが見つけたものなのだからあなたのものであると主張する。いやこれはあなたが地面を見つめていたから見つかったのあって私が見つけたのではないと答える。すると、先に地面を見ていた人が、それならばこの指輪はあなたにお渡ししますが、10～20ユーロをお礼としていただけますかという話になる。それならとお金を渡して指輪はあなたのものとなるが、実際はこれは何の価値もないおもちゃの指輪であることがわかるというもの。（プログレ紙11月28日付）

怪しいと思ったら、相手に悪いなどと思わず無言でその場を立ち去ること。また価値のある拾得物は最寄の警察にとどける必要であることをお忘れなく。

⑥ ترامウェイと乗用車の衝突事故

11月28日午後1時ごろ、リヨン8区のベルト口通りを走行中の乗用車とトラムウェイT2線の衝突事故があった。乗用車を運転していた女性が、トラムウェイに気付かないまま道路を左折し車がトラムウェイと衝突し、車は線路とトラムの間で挟まれ数メートル引きずられた。ドライバーは軽傷を負い、病院に運ばれた。この救助活動間付近の交通は中断され、事故後2時間ほどしてようやく再開された。(プログレ紙11月29日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

インドでのテロ事件などの影響でテロに対する国際的緊張が高まっているが、ローヌ=アルプ地方におけるテロなどに関する報告は特に無し。ただしこれから年末にかけて人の多く集まる祭典などが開催されるが周囲の状況には十分に気をつけること。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① ローヌ=アルプ地方も集中豪雨の被害をうける

11月1日から2日にかけてローヌ=アルプ地方を襲った集中豪雨により、浸水などの大きな被害が出た。ローヌ県でもボージョレー地方やアーブルル市ウーラン市など多数の地域で住居や車の浸水被害が多く見られた。リヨン=サン=テティエンヌを結ぶ幹線道路も浸水のために中断されるなど、道路交通も大きな被害が出た。リヨ市内でも河川沿いにある地下駐車場などで撤去されきれなかった20台ほどの車が浸水の被害に遭うなどした(プログレ紙11月3日付)

② リヨンでも初雪

11月23日にリヨンでも初雪が見られた。気温も一段と低くなり深夜や早朝は道路の凍結も見られるために車の運転には充分注意が必要である。またアルプスのスキー場などもオープンに向けて大忙しとなっている。

③ 教員のストライキ

11月20日、教員による全国ストライキがあり小中学校を始めとして多くの教育機関で混乱が見られた。本来なら教育機関がストライキの場合には、市町村が最低の児童・生徒の受入れ体制を敷く必要があるが、物質的に組織するのが不可能である、ストライキをする権利を侵害するなどの理由から大半の市町村では最低受け入れ体制は実施されなかった。(プログレ紙11月21日付)

④ ロワール県で校外学習中の小学生グループに車が突っ込む

11月25日、ロワール県で道路安全指導のために共和国機動隊隊員らと路上で校外学習を行っていた小学生の列のいた歩道に衝突事故でコントロールを失った乗用車が突っ込んだ。この事故により10歳と11歳の生徒二人および隊員一名が軽傷を負い、11歳の少女が重傷を負った。調べによると交差点で赤信号を無視して飛び出してきた車を避けようとしたもう一台の車のドライバーが衝突後車のコントロールを失い歩道に突っ込んだとされている。(プログレ紙11月26日付)

⑤ ボージョレーヌーボー解禁

例年通り、11月の第3木曜日にボージョレーヌーボーが解禁となりリヨン中心部でも催し物が開催された。(プログレ紙11月21日付)

5.その他の情報

① 一酸化炭素中毒に注意

毎年フランス全土で300名ほどの死者を出す一酸化炭素中毒。一酸化炭素とは目に見えない無臭のガスで暖房器具、暖炉、発電機などの不完全燃焼が原因となって発生する。

今月もメジュー市で石油ストーブの不完全燃焼が原因で一酸化炭素中毒となった男女2名が病院に運ばれた。(プログレ紙11月19日付)

症状としては、一酸化炭素の濃度が高い場合には意識を失い死亡に達する。また慢性中毒の場合には頭痛、めまい、意識を失うなどが挙げられとくに子供や妊婦に症状が出やすい。帰宅した直後に以上のような症状が現れる場合には暖房器具などの不具合による一酸化炭素中毒の疑いもあるために、ただちに換気を行い、暖房器具などの電源を切り、消防署か医者に連絡を取ること。

年に一度は専門家に暖房器具の点検を依頼し、換気窓などを塞いだりしないこと。暖炉がある場合には年に一度専門家に煙突掃除を依頼すること。発電機を室内で使用しないこと。閉まっているガレージ内で車のエンジンをかけないことなどという注意が必要である。(プログレ紙11月25日付)